

令和7年度 静岡県立工科短期大学校「あなたも小さなクリエイター」業務 質疑概要

注) 意味・趣旨を変えない範囲で表現等修正・集約しています

No.	質 疑 内 容	回 答
1	スタッフ体制の検討にあたり、学生と職員の動員は別途あてにできるか。	学生と職員は、別負担で確保するため本委託費用には含まれない。確保数は学生は募集結果に左右され未定だが、それぞれ4～6名程度が想定される。
2	体験イベントの難易度はどの層あたりに設定すればよいか。	小学生から高校生まで幅広い層がターゲットとなり、広く幅のある、どちらかというとな難易度の低い方が好ましいと考えられる。また、複数セット用意できるのであれば、ターゲットに応じた難易度も用意できる。考え方を提案いただきたい(事業の性質上、「ものづくり」の要素は確保)。
3	地域福産品等は一般的に単価が高い。お楽しみコーナーでは個数を減らし成績優秀に配布する形でも良いか。	お見込みのとおり。補助金等活用に鑑み、県施策推進と誘因及び地域貢献に資することを目的とする。バラマキでない、意図した差別化等、合理的な提案いただきたい(個数減は可)。
4	3拠点(門池地区センター、N'sマルシェ、工科短大沼津キャンパス)を回遊させるスタンプラリー実施は確定か。また、事前の来場促進は含めなくても良いか。	門池福祉まつり本体でのスタンプラリー実施は確認できていない。まずは単体として効果的な提案を優先する。地域を主たる対象とし事前の来場促進は不要であることから、事後の情報発信は期待される。